

令和6年度チーム伴走型知財経営モデル支援・広報事業 成果報告会

知財経営の扉を開く ～10社の挑戦から見る事業成長へのアプローチ～ 開催報告

- 九州経済産業局では、地域の中堅・中小企業10社に対して、知財及び多岐にわたる経営課題に対応できる専門家の支援チームを組成・派遣し、各社5回の伴走支援を実施。
- 成果報告会ではオンラインにて約140名が参加のもと、各企業及び支援リーダーにより伴走支援の成果を報告するとともに、基調講演を通じて、知財経営の重要性を伝えた。

【概要】 令和7年3月5日（水）15:00～17:40（オンライン配信）

主催：九州経済産業局、九州知的財産活用推進協議会

1. 開会挨拶 九州経済産業局 地域経済部長 楠木 真次

2. 基調講演「企業価値を磨く知財の力」
グローバル・ブレイン株式会社
パートナー／弁理士 廣田 翔平 氏

3. 事業概要説明 事務局

4. 成果報告 各企業×リーダー専門家による報告

5. 質疑応答

6. 九州における知財関連の支援施策・閉会挨拶 九州経済産業局 知的財産室長 中井 要

令和6年度チーム伴走型知財経営モデル支援・広報事業 成果報告会

知財経営の扉を開く

10社の挑戦から見る事業成長へのアプローチ

2025年 3月5日(水) オンライン配信

定員100名 参加費無料

基調講演 「企業価値を磨く知財の力」
グローバル・ブレイン株式会社 パートナー／弁理士 廣田 翔平 氏

15:00～15:05 開会挨拶
15:05～15:10 基調講演「企業価値を磨く知財の力」
15:10～15:25 事業概要説明
15:25～15:30 質疑応答
15:30～16:00 成果報告
16:00～16:15 休憩
16:15～17:25 九州における知財関連の支援施策
17:25～17:35 閉会挨拶

10社の企業及び支援チームによる成果報告会を開催

- ICURE株式会社 (医薬品製造業) 武井 孝行氏 × 小林 誠氏
- 環境電子株式会社 (電子機器製造業) 山本 隆洋氏 × 加島 広基氏
- 株式会社千禧カステラ (菓子製造業) 山下 直喜氏 × 藤井 宗利氏
- 長崎達和工機 (建設・林業機械製造業) 竹下 将臣氏 × 加島 広基氏
- ミクロエス株式会社 (医薬品製造業) 永井 達夫氏 × 坪内 寛氏
- 有限会社カジオ (食品業) 櫻井 真実氏 × 押谷 昌亮氏
- 株式会社システック井上 (医薬品製造業) 村井 浩一氏 × 廣瀬 隆彦氏
- チャリチャリ株式会社 (サービス業) 中尾 良一氏 × 小木 智彦氏
- 株式会社山本興業 (建設業) 中村 友久氏 × 藤井 宗利氏
- 株式会社山本興業 (建設業) 今西 将大氏 × 副田 治氏



会場の様子



開会挨拶



廣田氏による基調講演



成果報告



質疑応答



閉会挨拶



4. 各企業×リーダー専門家による報告

チームリーダー： UniBridge知財事務所
代表・弁理士・RTP 坪内 寛 氏

①マイクロエース株式会社（宮崎県） 研究開発本部長 永井 達夫 氏

協業環境の整備

特許戦略

● 契約の作成段階の不安を解消する具体的なアドバイスを受けて、自社の目線で想定した各種契約書の雛形が作成できました。契約書の内容を理解し、読み解く知識を得たことから、取引先の要望で契約書の雛形を修正する場合でも対等に取引を進めていけると思います。

● 支援を受けて知財の取得が自社の更なる成長に繋がることを理解し、社長自らが知財経営を意識して指揮を執るようになり、社内の知財活動が活発化してきました。保有する基本特許を活かすための特許網の構築に向けて引き続き特許戦略を検討します。



チームリーダー坪内氏

永井氏



現地支援の様子

チームリーダー： 弁理士法人ソシデア知的財産事務所
代表弁理士 小木 智彦 氏

②チャリチャリ株式会社（福岡県） Business Development 中嶋 れい 氏

特許戦略

強み・魅力の特定・整理と知財化

● サービス・プロダクトが目の前にできてから知財のことを考えるのでは遅いことや、アイデアの段階から「知財」を意識して知財戦略による守りと攻めの重要性が必要であることを理解しました。まずは支援での学びを社内での理解と浸透を進めて、知財経営を定着させたいと考えております。

● 支援を受けたことで日々生まれるアイデアをどのような知財等の強みに繋げていけるのかを意識するようになりました。また、自社の強みや世界観を再認識できたので、自社の事業優位性を意識した知財戦略を検討するとともに、自社の強みを広報・PRにも活かしていきたいと思っております。



チームリーダー小木氏

中嶋氏



現地視察の様子

4. 各企業×リーダー専門家による報告

チームリーダー： 日本橋知的財産総合事務所
代表弁理士 加島 広基 氏

③環境電子株式会社（福岡県） 代表取締役会長 山本 隆洋 氏

海外展開

ブランディング

●「水質監視装置」の技術を自社が他国で特許取得済であることから、進出先のベトナム事業のリスクヘッジとして、ブランド戦略についてアドバイスを受けました。中小企業等外国出願補助金を活用してベトナムで商標権の取得が出来たことで、海外でもビジネスチャンスを見逃さず、事業を守り、強化を図る知財経営の重要性について、更に認識を深めました。

●ベトナムでの事業環境リサーチとリスク分析を行うとともに、地域の課題に対応させたローカライズ戦略や蓄積のあるノウハウの活用を含む知財戦略を組み合わせ、国内で安定の信頼を有するブランド力を基盤に海外での競争優位性の確保と市場シェアの確保を見込んでおります。ベトナムの大学との共同研究準備が進展しており、今後も慎重に事業を進める予定です。



チームリーダー： 日本橋知的財産総合事務所
代表弁理士 加島 広基 氏

④長崎進和工機（長崎県） 工場長 竹下 将臣 氏

新商品開発

社内体制整備

●ソフトウェア開発のシステム構築の際に専門家から先進的な考え方が示され、固定観念で今まで考えが及ばなかった自社にはそれがとても新鮮に感じられました。知財の蓄積がいかにか大事かを再確認して、知財意識にも変化があり、今回の支援は有意義で貴重な経験となりました。

●知財戦略の活用と情報管理を通じて自社の強みの最適化を図り、ハーベスタの製造企業として今後も林業業界に携わっていける企業の基盤を盤石にしたいと考えております。社員のどんな小さな疑問や気付きもしっかりとくみ取り、製品開発に反映することが社員の意識に変化を与え、それが知財戦略、知財経営において大きなアドバンテージになると考えております。



4. 各企業×リーダー専門家による報告

チームリーダー： 株式会社シクロ・ハイジア
代表取締役CEO 小林 誠 氏

⑤ iCUREX株式会社（鹿児島県） 代表取締役 武井 孝行 氏

差別化戦略

特許戦略

産学連携

● 当社は（代表所属の）大学認定ベンチャー企業であり、事業化に必要な同大学が保有する特許（発明者は代表）の譲渡若しくは、ライセンスを受けるため、ビジネス戦略を見越した契約条件や事例の支援を受けて、契約交渉をスムーズに進める手法を理解いたしました。また、特許のクリアランスの実施方法を体得できたことは非常に有益であり、自社の特長を活かした新規の特許取得の可能性の幅が広がりました。

● 今後、製品開発が進み、本格的な事業展開が始まるフェーズに入ることから、体得した特許のクリアランスの実施方法を活かして自社単独の特許を取得していきながら、複数製品の上市を進めて、経営の安定化に繋げていきたいと考えております。



現地支援の様子

チームリーダー： CX Value Lab株式会社
代表取締役 廣瀬 隆彦 氏

⑥ 株式会社システック井上（長崎県） 取締役 執行役員 村井 浩一 氏

事業戦略

社内体制整備

● 知的資産のグランドデザインの策定支援を通じて、計測・制御・情報といった技術資産の可視化だけでなく、人的資産、構造資産、関係資産も含めて自社の知的資産であることに気付くとともに、分かりやすく可視化して社内を示したことで社員の理解が進みました。また、経営層においても、価値創造において知的資産の意識的活用を重視すると同時に、そのための仕組みづくりが重要であることを認識できました。

● 今後、知的資産を共有・活用するためのプラットフォームの構築に着手しますが、新しい価値を生み出すことに加え、日常的な業務の中でも活用できる仕組みを目指します。



現地支援の様子

4. 各企業×リーダー専門家による報告

チームリーダー： 明和総合特許デザイン事務所
代表弁理士・知財経営コンサルタント 藤掛 宗則 氏

⑦株式会社千鶏カステラ本舗（長崎県） 代表取締役社長 山下 直喜 氏

B2C2Cモデルの商品開発 ブランディング

● 支援を通じて、「スポーツカステラ®」のコンセプトとして当初考えていた「差し入れ」という応援行動のブランディングの方向性を再認識出来たことで、B2C2Cモデルの実現に向けた新たな需要の創造に歩み出すことが出来ました。またINPIT長崎県知財総合支援窓口の支援を受けて登録商標の不正使用に対抗出来たことで、知財の価値を十分理解しました。

● 製品デザインの考え方、見せ方についても指導を頂いて、ユーザーインの発想で「スポーツカステラ®」のパッケージデザインの見直しを予定しております。また、今後も原材料の特長を活かした様々な分野向けのカステラ製品の開発に取り組み、他社との差別化を図り、お客様に支持していただける商品に仕上げたいと考えています。



チームリーダー藤掛氏

山下氏



現地支援の様子

チームリーダー： 明和総合特許デザイン事務所
代表弁理士・知財経営コンサルタント 藤掛 宗則 氏

⑧株式会社平山組（長崎県） 常務取締役 中村 友久 氏

強み・魅力の特定・整理と知財化 ビジネスモデルの整理 ブランディング

● 自社の歴史を活かした強みや保有する知的資産に改めて気が付きがあり、地域で弊社にしかできない価値提供は何かを考えることが出来ました。「顧客に寄り添う支援」を軸に取り組むことで、社内で部門間の連携強化が図れたことにより情報共有が進み、より具体的で実現可能な提案が増えてきています。また地域での支援活用のサポートや関係事業者との連携した提案など地域ネットワークを活かした新たな取り組みも始めています。

● 「顧客に寄り添う支援」の強みを活かした地域密着型の「アプリノベーション」の考え方での事業展開を目指して、自社事業の独自性を保護するために特許や商標などの知財戦略を積極的に活用し、更なる収益化の機会を創出したいと考えています。



チームリーダー藤掛氏

中村氏



現地支援の様子

4. 各企業×リーダー専門家による報告

チームリーダー： 株式会社九州博報堂 九州しあわせ共創ラボ 所長
BXプランニング局 エグゼクティブ・プランニング・ディレクター 副田 治 氏

⑨株式会社山本興業（長崎県） 記憶力茶開発部 部長 今西 将大 氏

ブランディング

販売戦略

●本業の建設業の新規事業として「記憶力茶」の販売を開始したため、ノウハウもなく社会課題の解決などの視点も持ち合わせておりませんでした。支援で再設定していただいたターゲット層「就労シニア」からのリピートや定期購入の注文が入るなど一定の支持が得られており、ブランドコンセプトの明確化とチャネル開発の支援効果を感じております。

●商品力自体に自信があるため、多くの方にファンになっていただけるような商品ブランドストーリーを検討するとともに、支援で生まれたキャッチコピーの商標登録やターゲットと出会うチャネル展開を通じて、消費者に必要とされ親しまれ愛される商品を目指していきたいと考えております。



現地支援の様子

チームリーダー： 弁理士法人IPX
代表弁理士CEO 押谷 昌宗 氏

⑩有限会社カジオ企画（熊本県） 代表取締役 プランナー/ライター 櫻井 真実 氏

マネタイズ

ブランディング

●作ると売り込むことは別だと理解していたもののターゲットにどうフォーカスするかが分からず、支援を通して客観的に捉えることができました。商標登録の見直しを行い、デジタル教育コンテンツの正当な価値を見出すことができたため、教育に貢献し、事業の発信により企業の価値を上げる商品とともに、クリエイターの人材としてもマネタイズの面でも自信をもって発信できるようになりました。

●カジオ企画は大人や子供のそれぞれの世代が楽しいと思うものをその世代の目線に翻訳する能力に優れていることから、企業の良さを汲み取り、言語化する、それを子ども向けに、色々な発信手段を通じて翻訳して価値を伝えることにより新しいマネタイズを提供出来ると考えています。



カジオ企画制作の教育WEBコンテンツ「花咲くプラネット」